Begleiten 105号　2018. 11. 13

安倍内閣支持率30%の騙されている有権者を取り戻すために

ベグライテン世話人　杉山寅次郎

この夏の酷暑が去りやっと秋、と思いきや、いきなりストーブがほしくなるような朝がきたりと、寒暖の差が激しい季節、風邪などお召しになっていらっしゃいませんでしょうか。

「公正な税制を求める市民連絡会」のメーリングリストで今年４月「人間らしく生きる」講座の案内を拝見。受講開始したところ、講座後の食事会に参加しているうちに、いつの間にかベグライテン世話人新入りになっておりました杉山寅次郎と申します。どうぞよろしくお願いします。

先の９月、シンポジウム「核兵器禁止条約と日本の宗教の役割」に参加しました。核兵器禁止というとあまりにも対象が大きすぎて今さらどうなるものでもなかろうと、あれこれ忙しい日々の生活の中では一般的に関心を持ちにくく行動しにくい分野なのかもしれません。

ですが、今回、私の場合、興味津々、臨むことができました。というのは、今年８月『母と暮らせば』（山田洋次監督、吉永小百合、二宮和也主演）を観ていたからです。

この作品は、長崎原爆により即死した医科大生とその母、恋人との関係を軸に描かれた、優しく切なくそして悲しい物語。私の記憶が確かならば、あらすじはこんな感じ。簡単にご紹介します。

1945年８月９日午前11時２分、長崎医科大学上空、原子爆弾が炸裂。医科大生 福原浩二（二宮和也）は一瞬にして命を失う。その瞬間、教室は閃光で茶褐色の世界。

けれども浩二の母 福原伸子（吉永小百合）と恋人 佐多町子 （黒木華）は、浩二の死を受け入れることができない。３年間、浩二の形見を探し続けていた。

だがとうとう、伸子は町子に「諦めてもらっていいの、あの子のことは」と声をかける。「そらんこと言わんで」町子は一人で暮らすことを決意していたのだ。

ある日、浩二と町子の笑顔がはずんでいた日々を伸子が思い出している。 ふと、階段に人の気配が。「浩二！あんたコウちゃん？」「諦め悪かね、母さんは」。その後も現れる浩二。伸子と温かい母子の会話。

だがしかし、伸子には切り出さねばならない日が来る。「町子さん、もう新しい人を探したほうがいいと思うの。あなたはもうこの世の人じゃなかとよ」浩二は「絶対ヤダ⁉」と抗議するが、町子の幸せを真剣に考えるようになる。

「町子の幸せは、ボクだけじゃなくて一緒に原爆で死んだ何万人もの人たちの願いなんだ！町子は、ボクたちの代わりにうう～んと幸せにならんばいかん！」自らに言い聞かせるかのような浩二。

時はうつろい、小学校教員として働く町子に新しい人が現れる。先輩教員の黒田だ（浅野忠信）。

とある日、町子と黒田が伸子を訪問。一瞬とまどうが、とっさに「おめでとう！」快活に祝う伸子（涙）。その晩、伸子が浩二に告げる。浩二は、町子が幸せになれるんだと納得。

ある晩、心臓の弱かった伸子は静かに眠るように息を引き取っていた…。

（映画本編と松竹予告編から抄出）。

とまぁ、ざっとこんな感じです。長崎原爆での死者総数当時7.4万。広島原爆では14 万。浩二や伸子、そして町子のような運命をたどらざるを得なかった人々がどれだけいたことか、暗澹たる気分になりました。と同時に今こうして活かされている自分は何をなすべきか、考え込みました。

この作品の全国公開は2015年12月でしたが、新文芸坐(池袋)で毎年8月に開催されている「新藤兼人平和映画祭」、そこで今夏上映された一作です。

ちなみに、この映画祭は、「23歳から無謀にも始めて今回7回目、今年私30歳になっちゃいました⁉」と、映画の力を信じていると言うM女史が主催者です。「今の若い者は」なんてとても言っていられませんね！

思い起こせば、20年前、『週刊金曜日』の講演会を広島まで追っかけたとき、たまたま立ち寄った平和記念資料館。ひととおり観て出てきた時には「即席」反核主義者ができあがっていました。あの時は帰京後、原子力資料情報室の会員になったり、反核関係の本を買ったりしていたものです。

さらにこの8月、信州の「無言館」を諸先輩方と訪ねていたことも影響していました。「無言館」とは、窪島誠一郎氏が1997年上田市に開館した美術館で、正式名称を「戦没画学生慰霊美術館 無言館」といいます。窪島氏らが全国から収集した戦没画学生の作品を展示しているのです。「もはや何も語らぬ絵画ではあるが、これを観た者は多くを語りかけられた心情になり、却って無言にならざるを得ないという意味も込めて『無言館』と命名した」とのことです（ウィキペディアより抄出）。

ちなみに、この9月、無言館のための吉永小百合さんによるチャリティー朗読コンサートがあり、
1,500席が、8月には完売だったそうです。

以上のような経緯から私は、戦争反対はもちろん、殊に核兵器の廃止に超微力ながらお役に立ちたいと考えるにようになりました。聞くところによると、上智大学では来春、核兵器禁止条約に関する大きなシンポジウムを準備しているとのこと、私も参加したいと考えております。

けれども、です。安倍首相は、「積極的平和主義」という美名のもと、防衛費の増額や武器輸出の解禁など、米国への追従の道を爆走するばかりです。米国の核の傘の恩恵を得ているという気兼ねからなのか、はたまた日本での核兵器の保有を企んでいるからなのか、核兵器禁止条約になぜか賛成しません。日本の言い分が条約内容に入っていないからとか、核保有国がそろって反対している核禁止条約には実効性がなくかえって有害とか言い訳してるようです。なんとも情けない限り、とうてい信じられない理由です。

ところが、です。こともあろうに、こんな安倍内閣の支持率がいまや50%を超える勢いなのです(10月NHK,日本経済新聞等)。不支持率はせいぜい40%。ここ数年来、秘密保護法、戦争法、そして共謀罪法の強行採決と、インチキをこれでもかと重ねているのに内閣支持率は高止まり、選挙があれば衆議院・参議院ともに３分の２超の議席を自公が占めるという悪夢のような現実が続いているのです。モリカケ疑惑が沸騰し支持率が急落した時ですら、あろうことか30%前後で底をうっていたのです。

こうしてみると、一定数の国民はもはや政治問題には関心がない、今日明日の差し迫った生活の維持と将来の生活への不安で頭がいっぱい、経済問題にしか関心がないように見えます。そのような不安に付け込んで今や30%の固定支持層を自民党は騙して保持している、のではないでしょうか。安倍内閣支持者30%のうち、「富裕層」＋「所得一億円以上の超富裕層」＋「霞が関の忖度官僚」だけでは30%にならないでしょうから。

この点、「本来安倍内閣に反対しなければならない所得階層が安倍内閣支持にまわってしまっている。低所得階層の中で比較的上位にいる階層がより低い生活保護受給階層をバッシングする事態が生じている。小田原市での生活保護担当者『なめんなよ！ジャンパー事件』に対しては、批判だけが殺到したかと皆さん思ってるでしょうけど、実は50%は『よくぞやった！』という称賛の声だったんですよ！」と格差社会の中での深刻なもう一つの「分断された社会」の実態とその解消策を提言しているのが慶応大学の井手栄策教授です。

そして、井手教授は昨年5月「公正な税制」の会での講演で、「消費税反対を言ってたら永久に政権は取れませんよ。今日は皆さんに覚悟を決めてもらうために来ました」と。

しかし、この井手教授に対しては、前原元民主党代表のブレーンだったことや、そもそも前提とする財政政策が財務省の消費税ありきを下敷きにしているのではないかという疑問から、120%反対！まず消費税を廃止して富裕層の金融資産に課税しろ！それでも足りなかったら消費税を考えよ！というような厳しい批判があります。「人間らしく生きる」講座にも昨年登壇なさったようですが、あまり評判は良くなかったとのこと（涙）。

かくして、消費税を廃止して金融資産課税なのか、消費税を前提として使い道を厳格に社会保障に限るという方策が良いのか。北欧のように政府に対する信頼があつければ、高負担だけれど高福祉の社会が実現できるんでしょうが、果たして日本でそれが可能なのか、ただ今、あれこれ学習中です。

この辺は、政治学的にいう「合意論点」「対立論点」の見地からすると、「消費税を前提とする限り、合意論点として自民党に取り込まれる形になってしまいその独自性を主張するのは難しい。井手さんの政策の打ち出し方は相当難しい」というように、春の講座で質問に応えてくださったのが中野晃一上智大学教授です。

安倍内閣支持率の固定層30%のうち「騙されている有権者30%弱」を取り戻すためには政策をどう立案すべきなのか。最大の関心事です。

ちなみに、「市民連合からの提案～当面する政治課題にどう取り組むか？」という中野晃一教授の講演が11月17日(土)14：00から上智大学6号館で予定されています。ご都合よろしければ、ぜひ皆さまもご参加のほどお願い申し上げます。

◇（連続講座）公共哲学入門 ～より良き公正な社会のために～◇

（第2回）　メディアと民主主義　～世論調査か世論形成か～

公共哲学は、「より良き公正な社会を追究しつつ、現下で起こっている公共的問題(public issues)を市民(the public)と共に論考する実践的哲学」（私の定義）と定義することができます。そういう意味での公共哲学には様々な潮流がありますが、私は特に、人権、立憲主義、民主主義を重んじるスタンスを採ります。

第二回目は、そのスタンスから、「メディアと民主主義の関連」について、その歴史、現状、課題を話し、それをふまえて皆様と公共的対話・質疑応答を行いたいと思います。（配布資料あり）

【日時】11月11日(日)　14：00～16：30　【場所】上智大学　中央図書館　8F　821会議室

【講師】山脇直司さん（星槎大学副学長）

【参加費】1,000 円（学生、障害者・生保者は、500 円）
（終了後、講師を囲んで懇親会を予定しています。各自が飲食した分を、お支払いいただきます。）
今後のテーマは以下のとおりです。
第 3 回 権力と正義～その正当性を吟味する
第 4 回 共生社会の実現ために～ケアと公共を繋ぐ
【主催】ベグライテン https://www.facebook.com/begleiten2 http://begleiten.org/
ミシュカの森 https://www.facebook.com/mforest
【共催】ケアと公共を学ぶ会

◇11 月公共哲学を学ぶ会◇

当面する政治課題にどう取り組むか？

～市民連合からの提案～

公文書改竄問題などで大きな批判を浴びてきたにもかかわらず、9 月の自民党総裁選にて安倍晋三氏が三選されました。しかし地方票の離反、さらには沖縄県知事選挙で自公維候補がオール沖縄の玉城デニー氏に大敗し、安倍第 4 次改造内閣のゆくえには早くも暗雲が立ち込めているとも言えます。年末年始にかけての政治情勢はどのような展開を見せるのでしょうか。今後、安倍総理が執念を燃やす憲法改正に向けた動きにアクセルがかかることになるのでしょうか。また、これに対抗する立憲野党と市民の共闘の再構築が直面する課題にはどのようなものがあるのでしょうか。統一地方選や参議院選挙を控えた情勢を展望し、市民社会の取り組むべき課題について考えてみたいと思います。
【日時】１１月１７日(土) 14:00～16:30【場所】上智大学　６号館 ３F ３０４教室
【講師】中野　晃一　さん（上智大学国際教養学部長）
【参加費】１，０００円(学生/障害・生保証のある方は、５００円)
☆ どなたでも参加できます。事前申し込みは、不要です。
☆終了後懇親会を予定しています。(各自が飲食した分をお支払いいただきます。)
【主催】 ベグライテン HP http://begleiten.org/　　FB https://www.facebook.com/begleiten2/
ミシュカの森 FB https://www.facebook.com/mforest
【共催】 ケアと公共を学ぶ会
【問合せ】 090-9146-6667(関根) ・ ANA71805@nifty.com(入江)

◇憲法カフェ＠四ツ谷のご案内◇

安倍首相は、自衛隊の式典などで、憲法「改正」をするのが国会議員の義務だなどと言い始めています。これこそ、憲法違反そのものなのですが、なにせ国会議員の 3 分の 2 の勢力にものを言わせ、強引に改憲手続きを進めようとしています。
そこで私たちは、自民党が憲法審査会で検討してもらうと言っている、自民党の改憲案をもう一度勉強してみようと思います。その第 1 回として、9 条改訂案を取り上げ、どう説明すれば一般の人が自民党案のたくらみに気が付くか、検討したいと思います。

ベグライテン憲法カフェ（第３期　第２回）

自民党改憲案を学ぶ(その 1)

～　9 条改訂案　～

【日時】2018 年 11 月 22 日(木)　18:30～21:00
【場所】東京法律事務所　1 階会議室
アクセス：JR 四谷駅・四谷口前（しんみち通り入口横のファミリーマートの隣）
Tel:03-3355-0611　http://www.tokyolaw.gr.jp/about/location.html
【提題者】岸　松江　弁護士(東京法律事務所)
森　正樹　さん(ベグライテン世話人)
【司会】関根　和彦　さん(ベグライテン世話人)
【参加費】1 人 500 円＋印刷代（100 円程度）（参加費は提題者への謝礼含む）
飲み物は各自持参してください。
連絡/問合せ先：大塩：veu03273@nifty.ne.jp　　関根：090-9146-6667

ベグライテン憲法カフェ（第３期　第３回）

自民党改憲案を学ぶ（その 2）　～緊急事態状況～

【日時】2018 年 12 月 20 日(木)　18:30～21:00 の予定
【場所】東京法律事務所　1 階会議室

◇暮らしネットえん訪問見学会◇

暮らしネット・えんは、「高齢になっても障がいがあっても、おとなも子どもも共に生きる地域社会を創ることを目的に」、小島美里さんなど地域の女性たちが中心になり、訪問介護、小規模多機能居宅事業、グループリビングなどを営んでいる埼玉県新座市のＮＰＯ法人です。
このような施設を作りたい、働きたい、ボランティアしたいと思っておられる方にも、必見の施設・法人です。
自分、家族、地域に安心の輪を広げる活動を展開している小島さんから直接お話を伺い、介護や活動の現場を見ながら、介護・福祉・安心を感じるひと時をともにしたいと思います。
【日時】１１月２５日(日)　13：30～16：00
【訪問先】暮らしネット・えん　http://npoenn.com/publics/index/2/
〒352-0033　埼玉県新座市石神 2-1-4（堀之内病院の近くです）
【集合場所】西武池袋線　東久留米駅　東口
【行き方】タクシーに乗合で行きます。自家用車等で、直接行かれる方はその旨ご連絡ください。
【集合時間 1】13 時 15 分集合
【集合時間 2】12 時 15 分集合　☚　お勧めです。
暮らしネット・えん内にある、「だれでも食堂」で食事をすることができます。

【申込方法】フォーマットによる申し込み　https://goo.gl/forms/DTmyfFg52WqIVggN2
ＦＡＸによる申し込み：氏名(ふりがな)、〒、住所、電話、携帯、メールアドレスを記入し
050-3737-2636　後藤哲男　宛て
■問合せ先：　関根　和彦　090-9146-6667　　k_sekine@f7.dion.ne.jp

◇ミシュカの森 2018 のお知らせ◇

「ミシュカの森」とは 2000 年末に幼い姪と甥を含む妹一家 4 人が突然命を奪われた「世田谷事件」追悼の集いです。私、主宰の入江杏は、悲しみに寄り添い、共に生きる「グリーフケア」と「グリーフサポート」の活動を展開して現在に至ります。今年は 2 回開催します。警察からの形骸化した追悼行事はやめたい、という今年の申し出を受け、ショックを受けたご遺族の声を聞きます。どんなイベントでも、形骸化したものなら意味はありません。「ミシュカの森」は、グリーフに共感的な場とはどんな場か、を探る形で毎年、新たな問いかけをしてきました。平成から新たな御代へと変わる節目に、平成に起きた悲しみがなかったことになってしまうのでは?という危惧を感じ、今年は 2 回開催することに致しました。今年は、共通するテーマは「居場所」です。世田谷事件の衝撃で、家族のみならず、家、地域、いわば、「居場所」を失った私。事件後の 18 年は「居場所」をどう取り戻すか、創っていくか、が課題でした。ベグライテンの皆様、はじめ、グリーフサポートやこどもに寄り添うチャイルドラインや人権活動を展開する皆様と、つながりを創っていく道筋は容易いものではありませんでしたが、皆様のお支えあっての今があります。今年は様々な角度から「居場所」について考えてみたいと思っています。どちらもどなたでもお越しになれます。人数把握の為に申し込み制ですが、よろしく御支援お願い申し上げます。　　（入江　杏）

★「ミシュカの森 Part1」は、12 月 9 日（日）気鋭の心理学者、東畑開人先生をお迎えして港区で開催します。タイトルは「限りなく透明に近い居場所」。「アジールと隠れ家」という視点からお話頂きます。場所は港区の「芝コミュニティはうす」です。
東畑先生よりの一言は…
「私たちを生きづらくさせているものからひととき、身を隠していられる場所、あるいは小さな依存を引き受けてくれる場所が居場所。アジールと呼ばれる「居場所」は、なぜ、はかなくて消えやすいのか、何が居場所を守るのかを考えてみようという趣旨です。」
【日時】2018 年 12 月 9 日（日）14:00～16:00
【場所】芝コミュニティはうす（慶應義塾大学東門向かい）　港区芝 5-13-15　芝三田森ビル
【参加費】1000 円
【申し込み】こちらをクリックして申し込み手続きにお進みください、よろしくお願い致します。
https://goo.gl/forms/dEmsTg5B9MlgdnJ43

★「ミシュカの森 Part2」は、12 月 22 日（土）上智大学グリーフケア研究所との共同主催で上智大学で開催予定です。学びの機会とともに共感的理解の居場所と、私なりの役割を与えてくださった上智大学グリーフケア研究所との共同主催となり、辛い時期だけに一層有難く、嬉しいです。平成に起きた悲しみがなかったことになってしまうのでは?という危惧の中、悲しみが人をつなぐとはどういうことなのか?　グリーフケア研究所長の島薗進先生とともに信州大学の山崎浩司先生から「共感・共苦のコミュニティの形成を目指し

て」というタイトルでお話頂きます。悲しみにどう向き合うのか、のヒントを頂き、今後の希望への足がかりにしたいと思います。

【日時】2018 年 12 月 22 日（土）14:00～16:30

【場所】上智大学中央図書館　9Ｆ　L-921 教室

【参加費】1000 円

【申し込み】こちらをクリックしてお申し込みの手続きにお進みください、よろしくお願いします。

https://goo.gl/forms/8TQY5DY441iKJa2i1

◆◆◆９～10 月の例会、セミナー、カフェ、訪問のご報告◆◆◆

◆シンポジウム「核兵器禁止条約と日本の宗教の役割」のご報告◆

上智大学実践宗教学研究科との共催で 9/20 に開催したシンポジウム「核兵器禁止条約と日本の宗教の役割を考える」、下記日程で、盛会のうちに終了致しました。雨の中、200 人の方が参加、 大塚寿郎学務担当副学長に続き、主催の島薗進教授が「これまで日本の宗教界は横に連帯しながら平和のための活動を続けてきた。核兵器禁止条約に賛成を表明していない日本の政府。今後、我々の声を社会に響かせていくきっかけの会にしたい」と趣旨説明を。続いて、核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)国際運営委員の川崎哲氏が基調講演。立正佼成会軍縮問題アドバイザーの神谷昌道氏、全日本仏教界事務総長の戸松義晴氏、上智大学神学部教授でカトリック司祭の光延一郎氏がそれぞれの立場から宗教者の取り組みを報告、「核兵器は宗教教理に反し、非正当であり非人道的でありかつ邪悪である。これは世界の良心のシンボルである宗教者がすべて持ち合わせている価値観だ」などの言葉に大きく懐く参加者の姿が見られました。島薗進教授は最後のディスカッションのまとめで「これをきっかけにこうした集いをもっと持っていき、日本の宗教界が世界の動きに呼応していけるようにしたい」と今後への期待をつなぎました。安全保障や軍事のプロではない一般市民が自分の問題として核兵器の問題を考え、核の非人道性を指摘し、核廃絶のために連帯していく重要性を痛感しました。川崎さんが最後に述べておられた、平和教育の組み替えの必要性は、当事者として、人権教育の一端に関わるものとして、深く心に刻みました。

（ミシュカの森　入江　杏）

【日時】2018 年 9 月 20 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分

【場所】上智大学 10 号館 講堂

【参加費】入場無料 どなたでも参加できます。事前申し込みは不要です。

【シンポジスト】

島薗 進（上智大学大学院実践宗教学研究科教授、上智大学グリーフケア研究所長）

川崎 哲（核兵器廃絶国際キャンペーン国際運営委員、ピースボート共同代表）

神谷 昌道（立正佼成会軍縮問題アドバイザー）

戸松 義晴（浄土宗心光院住職、全日本仏教会事務総長）

光延 一郎（カトリック司祭、上智大学神学部教授）

【主催】上智大学大学院 実践宗教学研究科(03-3238-4699)　ベグライテン

ミシュカの森【後援】　日本カトリック正義と平和協議会

★内容的には物足りないという声も聞かれましたが、宗派を超えて宗教者が集い、核廃絶を訴えたことには、大きな意味があったと思います。島薗先生の狙いもその辺りにあったのではないでしょうか。大切なことは、これを一回限りで終わらせることなく、２回、３回と続けて核廃絶に向けた大きなうねりを作っていくことです。(高野)

◆ベグライテン 10 月例会～秋山正子さんをお迎えして～◆

「地域を耕し続けて～在宅ケアの現場からの地域づくり～」

訪問看護師としての豊富なご経験をもとに、健康や生活にかかわるさまざまな相談に応じる「暮らしの保健室」や、がんになった人や家族が落ち着いた空間のなかで気軽に安心してサポートを受けられる「マギーズ東京」の設立など、地域のなかで在宅ケアを支える場を多方面で展開されてきている秋山正子さんから、これまでの活動とそこからみえるケアのあり方などについてお話をうかがい、「ケアとは何か」を一緒に考えてみたいと思います。

【日時】10 月 6 日(土)　14:00～16：30

【場所】上智大学上智大学　6 号館　３Ｆ　304 会議室〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

【講師】秋山　正子さん（㈱ケアーズ　白十字訪問看護ステーション統括所長、暮らしの保健室室長、NPO 法人白十字在宅ボランテイアの会理事長、認定 NPO 法人 maggie’s tokyo 共同代表センター長）

【略歴】1973 年聖路加看護大学卒業。関西にて臨床及び看護教育に従事。１９９２年から東京都新宿区で訪問看護を開始。現在は、新宿区及び東久留米市で訪問看護・居宅介護支援・訪問介護の 3 事業を展開。2011 年、「暮らしの保健室」、2015 年、看護小規模多機能（複合型）「坂町ミモザの家」を開設。2016 年 10 月には、豊洲にがん患者と家族のための相談支援の場「マギーズ東京」をオープン。

【著書】『つながる・ささえる・つくりだす　在宅現場の地域包括ケア』（医学書院）、『家で死ぬこと考えたことありますか？』（保健同人社）、『「在宅ケアのはぐくむ力』（医学書院）、『在宅ケアのつながる力』（医学書院）、『在宅ケアの不思議な力』（医学書院）　など

【主催】ベグライテン　https://www.facebook.com/begleiten2　http://begleiten.org/

ミシュカの森　https://www.facebook.com/mforest【共催】ケアと公共を学ぶ会

★秋山先生が看護の道に入った動機。そしてある患者さんと家族の自宅介護のヒストリーのお話。個人のお話なので細かくは書けないけれど、具体的な例なのでとても心に響いた。家族と地域と専門職。これらがすべて組み合わさって初めてうまくいくのだなと感じた。（K）

◆公共哲学入門　～より良き公正な社会のために◆

「立憲主義と人権～その歴史と現状を皆様と共に考える」のご報告

山脇直司先生をお迎えしてのセミナーを下記日程で開催しました。当日ご参加下さいました方からのご感想を添えてアップ致します。

【日時】９月２４日（月・祝）14:00～16;30　【場所】上智大学 2 号館 407 教室

【講師】山脇直司さん（星槎大学副学長）

【参加費】1,000 円（学生、障害者・生保者は、500 円）

【主催】ベグライテン　https://www.facebook.com/begleiten2　　http://begleiten.org/
ミシュカの森　https://www.facebook.com/mforest【共催】ケアと公共を学ぶ会

★公共哲学入門講座では、山脇先生の公共哲学が、右も左も乗り越える、新しい道標となることを理解しました。特に、印象に残ったのは、民主主義が「多数者の支配」という盲点をはらんでおり、これは上から目線で語る進歩主義と同様に弱者を切り捨てることに他ならず、だからこそ、人権憲法とも言える日本国憲法により国民が国家を制限し国家はこの憲法を尊重し擁護する義務を負うという「立憲主義」を今一度思い起こさないといけないし、そのためには、他者を尊重するという人権の制度化を超党派的に考えないといけないということです。「立憲主義」とは憲法を尊重する義務で、こうしたことを実現するには、多数決原理ではなく、少数意見も尊重しつつ、公共的諸問題を議論によって深めようという形の民主主義が必要で、熟議民主主義を醸成する道標が、山脇先生の活私開公ということが分かりました。とても勉強になりました。今日の公共哲学入門講座を受けて、現下のイデオロギーなき社会の道標としての山脇先生の公共哲学の有用性を改めて実感しました。E.I さん

◆憲法カフェ@四ツ谷　９月例会のご報告◆

「日米地位協定」の改定を迫る意味は？

米軍機から機材が落下してもお構いなし、オスプレイは日本全国飛び放題、米軍の治外法権「横田空域」のため、民間機が危険な飛行ルートを強いられている、・・・すべて「安保条約」のもとで運用されている「日米地位協定」で定められています。

毎月、隔週で開催されている日米の高官からなる「日米合同委員会」。ここで米軍基地問題、辺野古に新基地を建設する問題など、憲法の制約をこえて極秘裏に話し合われています。

日本が米国に従属しているこの構造こそ、日本国憲法の上に「安保条約」、「日米地位協定」があるといわれるゆえんです。

首相の＜悲願の改憲＞は、総裁選で安倍首相が３選を果たすと猛烈な勢いで＜9 条に自衛隊を明記する改憲案＞を強引に推し進めてくることでしょう。

日米との軍事同盟の実態と改憲の関係を学んで、＜安倍改憲にＮＯの 3000 万署名＞を達成し、改憲の動きを封じることがいま求められています。ご家族、友人を誘ってご参加ください。

ベグライテン　第２期　第１８回「憲法カフェ」

【日時】2018 年９月２７日（木）18:30―21:00
【テーマ】“日米地位協定“の改定とは―9 条改憲とのからみで―
【場所】東京法律事務所　１階会議室

- 提題者：岸　松江　弁護士(東京法律事務所)
  森　正樹　さん(ベグライテン世話人)
- 司　会：関根　和彦　さん(ベグライテン世話人)
- 参加費：１人 500 円＋印刷代（100 円程度）（参加費は提題者への謝礼含む）

★ 6 名参加。岸弁護士、森さんのレポートをめぐり、活発に討論。地位協定をめぐる深刻な状況を共有することができた。

★ 憲法カフェ@四谷も回を重ね、憲法の条文では 40 条まで一通り学び、安保法制や地位協定まで学んだので、この辺で一区切りし、新しいメンバーを迎えられるような運営を考えなければならないと問題提起があり、21:30 まで熱心に討論した。
次回から第 3 期に移行すること、私たちの日常生活にある出来事と憲法との関係にも目を向けるべきだという意見も出て、次回は LGBT と憲法の関連を取り上げることなった。

◆憲法カフェ@四ツ谷　10 月例会のご報告◆

官僚・自治体トップによるセクハラに対する抗議や＃Ｍｅ Ｔｏｏ運動、性暴力被害者のムラドさんのノーベル平和賞受賞など、女性など少数者が声を上げ始めています。また自民党議員が「生産性がない」とＬＧＢＴ攻撃をして、大きな非難をあびました。

「生産性」の有無（？）を基準に個人を差別することについて、日本国憲法はどのような姿勢をとっているのでしょうか。「生産性」という物差しは、自民党改憲草案の中にもみえかくれしています。

日本国憲法が最も大切にしている「個人の尊厳」原理について、多様性という視点で話し合ってみましょう。

もともと初心者向けの勉強会です。ご家族、友人を誘ってご参加ください。

ＳＮＳ、ＭＬなどで、宣伝してくださるようにお願いします。

ベグライテン　憲法カフェ　（第３期　第１回）

みんなちがって、みんないい　～ダイバシティ(多様性)と憲法～

□　日　時：2018 年１０月２５日(木)　18:30～21:00

□　場　所：東京法律事務所　１階会議室
アクセス：JR 四谷駅・四谷口前（しんみち通り入口横のファミリーマートの隣)
Tel:03-3355-0611　http://www.tokyolaw.gr.jp/about/location.html

★ 折角新装開店したのに、参加者は 4 名。
★ 岸弁護士から、ダイバシティについて、説明と問題提起があり、熱心に意見交換。
★ 安倍首相が悲願の憲法改正に取り組む決意を示しているので、自民党の改憲案を次回以後順番に取り上げることにした。

◆聖路加国際病院緩和ケア病棟訪問のご報告とご感想◆

スピリチュアルケアを含め、最も整った終末医療を行っている病院の一つであると言われている聖路加国際病院緩和ケア病棟を下記日程で訪問いたしました。ご参加ありがとうございました。

【日時】　第１回　9 月 1 日(土) 14：00～16：30

★私自身が介護職で、ケアの現場の先進的なひとつとして本日を楽しみにしていたの同時に、母が進行がんを患っており、緩和ケア外来やホスピスを将来的に利用する可能性も含め、参加させていただきました。チャプレンの上田さん、看護師の片山さんも、緩和ケアの現場に向き合う深い哲学と理念をお持ちであることを感じ学ぶとともに、緩和ケア病棟のチームとしての取り組みにも感心させられました。とかくケアの現場に携わるスタッフはクライエントと同化しないこと、感情を巻き込まれ過ぎないことを教わるものですが、患者や家族のスピリチュアルな苦悩に寄り添うことができるのは、支援者自身、支援への迷いや戸惑いを抱えつつそれでも真摯に伴走しようとする者なのではないかと思います。そのようなことを考えさせられる時間でした。…TK さん

★ソーシャルワーカーの勉強中にデーケン先生のグリーフケアを知り、実践にふれたくて、ＦＢから見学を希望しました。思いがけず、デーケン先生の講義を受講された方の集まりであることを知り、うれしく思います。現場でターミナルや看取りにふれ、ふりかえってもふりかえっても、よかったのかどうかわからずにいました。９０~１００歳のクライエントと対話する中で、生と死はともにあるといつも思わされることが多く、良い機会に出会えたと感じております。…KW さん

【日時】　第２回　9 月 8 日(土) 14：00～16：30　参加：21 名
＊プログラム内容…「自分らしい最期を迎える助け手となる」病院チャプレンのケビン・シーバー牧師と佐々木看護師より、聖路加国際病院でのチャプレンによるスピリチュアルケアの実際や病棟での緩和ケア体制などについて、丁寧な説明をして頂いた上で参加者からの自由な質疑応答。その後病棟訪問。
＊参加者の声
S.T さん　スピリチュアルケアが医療と結ばれているということを改めて知りました。最後までその人らしく生きていく事の重要性を考えさせられました。
匿名希望さん 病院は病を診てもらうところと考えていましたが、聖路加国際病院では１人の命ある存在として大切に対応していることに感動しました。また、日本ではまだ馴染みのないチャプレンですが、患者にとって最後までその人らしく生きられるように傾聴していただく働きは、とても大切だと思いました。全てを受け止めることは難しいかもしれませんが、その方の最期までに何か１つでも気づきがあれば良いと思います。
匿名希望さん　チャプレンの先生のお話は、あまり聞くことがないためとても勉強になりました。緩和ケア病棟で働く看護師のお話しや遺族会、その時の様子など普段聞くことができない内容を聞くことができました。

◆花の谷クリニック訪問のご報告とご感想◆

千葉県南房総で一般内科外来診療、緩和ケア病棟、在宅ケアの 3 つを連携させ、ホスピス精神に基づく活動で住民の健康を守っている「花の谷クリニック」を以下の日程で訪問しました。参加された方のご感想をアップします。
【日時】9 月２２日(土) 14：00～16：30　【集合】13：30 前後に内房線千倉駅前集合。
★花の谷クリニックが緩和医療を房総で、地域の中でどのように何をしているのか、都会の病院、ホスピスとどう違うのか興味がありました。診療所、癌以外のターミナルを受け入れる緩和病棟、のスープのよろずや、デイケア、そして理解ある周辺施設…、病む人の本当に必要とするケアがこんな形で実現

していることに驚きました。スペシャリストだけのものでもなく「病と共に生きる人」を支えるたてわりでない心の横の連携ができるのだと希望を持ちました。ST さん

★以前から来たかった「花の谷クリニック」に来ることができて、本当に今日は感謝です。事細かに説明してくださった先生に感謝です。高齢化社会の今、癌ターミナル患者に限らず、すべての人間にとってターミナルケアは切実な問題です。ケアそのものが起業化されてしまった今、ケアを受けるだろう自身にとって考えるヒントをたくさん頂き ました。生活の延長としてのケア、そして死があることを再考したいと思います。きのこスープは絶品でした。MT さん

◇中国訪問記　森　正樹◇

中国（青島、秦皇島、古北水鎮、北京）に行ってきました（10/18-24）。最近の中国の印象について書いてみます。このところ 5，6 年毎年、映画関係の訪中団の仲間に加わり、中国各地を訪問してきました。ひとことで言うと、都市の発展と豊かさのスピードの凄さに尽きます。

日本の高度成長期より何倍もの発展ぶりです。人々の暮らしも、服装や持ち物、自動車、また旅行に出る人が増えていることから十分にうかがえます。都市と田舎の格差はありますが、田舎の人々も衣食住には困らず、旅に出られる余裕も生まれ、確実に底上げされています。新幹線、高速道路、地下鉄道などの社会インフラも、その距離は米国を抜いて世界一。ＩＴ技術の社会生活への浸透も日本や韓国よりも進んでいます。

文化的な事業も盛んで、名所旧跡の保存、再建と記念館、資料館や博物館、美術館なども数多くみられます。青島はたった 15 年のドイツ占領時代の香りが建物や街並みに色濃く残っているヨーロッパ風の清潔で奇麗な街でした。日本の占領時代がはるかに長かったが何も残っていない。

青島から空路北京に、翌日新幹線で 2 時間弱、秦皇島市に移る。長城の東南端にある老竜頭、山海関、孟姜女廟伝説など見どころが多い。徐福を東国に送り出した港や中国 4 大悲劇の一つ孟姜女の慟哭で崩れたという長城の名残、孟姜女廟は一大テーマパークとなっている。

再び北京に戻って西太后の避暑地頤和園（人造湖）、そして北へ車で 3 時間、古北水鎮テーマパークと司馬台長城へ向かう。陽が沈みかけてから長城の下から 2 番目の関まで、途中ロープウエイに乗って登り、街の夜景を見下ろす。古い街を再現させた街並み全体がライトアップされている。このテーマパークは 24 時間オープン。入場管理は顔認証で行っていた。酒造所、染め物工房、古書店、土産物屋、居酒屋、レストラン、コーヒーハウスなど立ち並びにぎわっていた。

これからどんな風に発展するのか、先が楽しみな国でもある。一方、ネットの制限（google,facebook,LINE は使えない）や言論の自由など民主主義に関わる個人の尊重と基本的人権の徹底した保証は、この国がさらに発展するためにクリアしなければならない課題であることは間違いありません。（2018.11.6 記）

★★　その他のカレンダー★★

◇第五福竜丸と世界の核被害◇

http://www.tokyo.ywca.or.jp/peace/nonviolence/news/2018/10/000804.html

【日時】2018 年 11 月 13 日（火）～12 月 15 日（土）

10：00～20：30（月曜日～金曜日）、10：00～17：30（土曜日）　　日曜日、祝日はお休み

【開催場所】東京 YWCA 会館 1 階ロビー　東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

写真展の内容：「第五福竜丸とビキニ事件」パネル、

「世界の核被害」豊崎博光（フォト・ジャーナリスト）さん撮影写真

「核兵器禁止条約に関する解説」パネル展示

＊会期中、火曜日・木曜日・金曜日にガイドボランティアの解説が 13:00～16：00 まであります。

＊＊講演会「世界の核被害」

日時：2018 年 12 月 15 日（土）14：00～16：00

場所：東京 YWCA 会館１０１室　　定員：３０名

講師：豊崎博光さん（フォト・ジャーナリスト）

参加費：５００円"

◇東京大学大学院人文社会系研究科 2018 年度後期　臨床死生学・倫理学研究会◇

【会場】東京大学本郷キャンパス　法文 2 号館 2 階 2 番大教室

【日時】開催時間：午後 6 時 50 分～午後 8 時 30 分　事前予約不要

＊2018 年 11 月 14 日（水）認知症高齢者と看護職者のケアリングについて

小松 美砂　　三重県立看護大学 看護学部 教授

＊2018 年 12 月 5 日（水）　　臨床宗教師の人材育成とその活動

大下 大圓　　飛騨千光寺 住職、認定臨床宗教師、京都大学医学研究科非常勤講師

＊2019 年 1 月 16 日（水）　　『ケア』をやまと言葉で考える

竹内 整一　　鎌倉女子大学教授、東京大学名誉教授

◇元自衛官たちが語る 9 条改憲◇

https://www.facebook.com/events/341861823235767/

「自衛官が誇りを持てる環境を」とのかけ声の下、戦後はじめての憲法改正が行われようとしてる今。

しかし、皆さんは知っていますか？当の自衛官たちがどう思っているかを。

現役自衛官らは政治発言を固く禁じられており、彼ら彼女らの生の声を聞くことは難しいのです。

そこで、元自衛官らの集まりであるベテランズ・フォー・ピース・ジャパン（VFP ジャパン）のメンバーたちが語ります。

憲法についても含め個々人の政治信条は様々な彼らが、広島、沖縄、香川から駆けつけ、自分たちや後輩の立場になって、この憲法改正について自らの思うところを率直に語ります。

この唯一無二の機会に、きけ、元自衛官のこえ。

☆□登壇者（予定）☆□

井筒高雄（元陸自・レンジャー部隊員）形川健一（元海自・ジプチ駐留）森村真人（元陸自・東日本大震災支援）奥西真澄（元空自・パイロット）　他

　コーディネート（武井由起子・弁護士）

【日時】2018 年 11 月 16 日　18 時 30 分（開場 18 時）

【場所】参議院議員会館　１０１会議室（１F）

【資料代】1000 円　　【申込不要】で先着 100 名。

主催：ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン

イベントの問合せ先　vfpjapan@gmail.com　（ＶＦＰジャパン）

◇「社会保障制度改革と財政問題」◇

https://www.tanpoposya.com/予定-スペースたんぽぽ

★★★　新ちょぼゼミ 18 回

【日時】11 月 16 日　18 時より 21 時

【場所】「スペースたんぽぽ」(ダイナミックビル４Ｆ)

　　東京都千代田区神田三崎町 2-6-2

【講師】伊藤周平さん（鹿児島大学教授）専門は社会保障法

◇真生会館　土曜日講座「この国のかたちを考える現」講座◇

―人と人との関係性のなかで生きるために―

【場所】真生会館　〒160-0016　東京都新宿区信濃町 33 番地 4　真生会館ビル

【アクセス】JR 総武線信濃町駅改札を出て右側徒歩 1 分

【お申込み・お問い合わせ】一般財団法人真生会館→ http://www.catholic-shinseikaikan.or.jp/

　電話 03-3351-7121（受付代表・受付時間　10:00-16:45 ）　ファックス 03-3358-9700

　E-mail:gakushu@catholic-shinseikaikan.or.jp

【日時と講師・テーマ】土曜日のいずれも時間は 13：30～15：30 です。

『地獄への道は善意で敷きつめられている』（英国のことわざ）生きることの尊さ、愛おしさにおいて人は皆同じいのちの恵みに生かされています。

しかし、社会の問題に取り組み、対応する中で、弱い立場の人々の気持ちや、苦しみを深く理解し、考えているでしょうか。「上から目線」で人を支配するような社会システムのもと、過酷な現実の中で更に傷つけられる結果になっていないでしょうか。人と人が生かし合える関係性の中で生きるとは・・・、考え学んでみたいと思います。

11/17　　若年女性を取り巻く現状　　橘ジュン（NPO 法人「Bond プロジェクト」代表）

12/8　　事実を知り行動することの大切さ　　渡辺周（「ワセダクロニクル」編集長）

◇国際有機農業映画祭◇

http://www.yuki-eiga.com/

【日時】11 月 18 日（日）9：30 開場 10:00～20:00
【会場】法政大学市ヶ谷キャンパス　http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html
　　アクセス　JR 総武線市ヶ谷駅・飯田橋
【参加費】一般：前売 2,000 円・当日 2,500 円
　　学生＆25 歳以下：前売 500 円 ・当日 1,000 円
　　※25 歳以下、中学生は当日身分証明書を提示、中学生以下は無料
【上映作品】海－消えたプラスチックの謎／狂った蜂２／たねと私の旅
　　／トマト帝国／大平農園４０１年目の四季
　　その他「野良語り」トークあり

◇脱原発をめざす女たちの会 11.18 集会◇

https://blog.goo.ne.jp/wa8823/e/d401f7f1a0a77889bca63a4e341a9c4e
【日時】2018 年 11 月 18 日（日）13：30～16：30（開場 13：00）
【会場】東京・日本教育会館 9 階第 5 会議室　http://www.jec.or.jp/koutuu/
（地下鉄神保町駅 A1 出口/竹橋駅北の丸公園側、出口、徒歩 5 分）
【参加費】1,000 円（当日受付でお支払い下さい）
プログラム（お話）
飯田哲也さん（環境エネルギー政策研究所所長）「世界の自然エネルギーの現状と日本の未来」
武藤類子さん（福島原発告訴団長）「原発事故から 7 年半　福島は今」
主催：脱原発をめざす女たちの会
参加お申込みは[申込みフォーム]からお願いします→http://www.nnpfem.com/contact.html

◇生と死を考える会教養講座　生と死の現在とその奥行き◇

【『永訣』の思想―詩人大岡信氏の遺産から学ぶ】

http://www.seitosi.org/learn/index/9
　超高齢社会の中で可能な限り充実した高齢人生を過ごすために、今できることは何か、また自分のためだけではなく、周りの人のために、何が望まれているか、を考えてみます。
また、子どもたちがおかれている命の現場や自死の問題から、生きることの意味を掘り下げてみます。
この際、現代の医学・看護学をはじめ、文学や哲学、社会学や心理学などの知見を参考にしつつ学び、併せて、日本人が培ってきた死生観の現代的意義にも目を向けてみましょう。
講師：田畑邦治 氏（白百合女子大学学長）
【日時】2018 年 11 月 19 日(月) 19：00～20：30（受付 18：30～）
【会場】東京 YWCA 会館 2F208 号室　http://www.tokyo.ywca.or.jp/about/access.html
　　東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 （お茶の水）
【参加費】各回／会員・学生 1,000 円 一般 1,500 円
【定員】先着 30 名
【申込】ＮＰＯ法人　生と死を考える会
　　〒101-0062　東京都千代田区神田駿河台 1-8-11　東京ＹＷＣＡ会館 2 階 214 号
　　TEL　03-5577-3935（火・金/午後）FAX　03-5577-3934

メール:koenkai@seitosi.org
問い合わせフォーム：http://www.seitosi.org/contact.html

◇芸術と憲法を考える連続講座　生誕 100 年 ちひろの絵本と憲法のこころ◇

https://www.peace-geidai.com/芸術と憲法を考える連続講座/

いわさきちひろの原点となっている戦争体験。ちひろは東京山の手空襲で家を焼かれ、川の水をかぶりながら一夜を明かした。その翌朝見た光景が、絵本『戦火のなかの子どもたち』に描かれている。戦後、画家を目指したちひろが一貫して描き続けた「子どもの幸せと平和」。そこに映し出された憲法のこころとは。ちひろの長男・松本猛氏によるお話と、若手アーティストたちによる歌と朗読でたどるちひろの世界。

【日時】2018 年 11 月 19 日（月）18:30－21:00（開場 18:15）
【会場】東京藝術大学 上野キャンパス 音楽学部 5-109 教室　https://www.geidai.ac.jp/access/ueno
【お話】松本猛、歌: 岡田愛、ピアノ: 善養寺彩代、朗読: 大塚航二朗
※入場無料、申し込み不要。どなたでもご参加いただけます。
【主催】音楽学部楽理科、共催: 自由と平和のための東京藝術大学有志の会、後援: 日本ペンクラブ

◇安倍政治を終わらせよう！11. 19 院内集会◇

戦争をさせない 1000 人委員会はこの間、「19 日」行動の前段の時間帯を中心に立憲フォーラムとの共催で集会を開催してきました。11 月 19 日、下記の通り集会を開催します。ぜひご参加を！

安倍政治を終わらせよう！11.19 院内集会

日時：11 月 19 日（月）17 時～
場所：参議院議員会館講堂
講師：本間龍さん（著述家）「国民投票における広告の役割と規制の必要性」
主催：戦争をさせない 1000 人委員会・立憲フォーラム
※入場は無料です。

◇安倍９条改憲 NO！辺野古新基地建設は断念を！11. 19 国会議員会館前行動◇

日時：１１月１９日（月）18:30～
場所：衆議院第２議員会館前を中心に
共催：安倍９条改憲 NO！全国市民アクション
主催：戦争させない・９条壊すな！総がかり行動実行委員会

◇映画「コスタリカの奇跡」上映会◇

常備軍を解散した中米の小国「コスタリカ」。この映画は 1948 年～1949 年にかけて行われた軍隊廃止の流れを追いながら、教育・医療・環境にどのように投資していったかを詳しく説明する。
世界がモデルにすべき中米コスタリカの壮大で意欲的な国家プロジェクトが今明らかになる。
※各種団体による上映会を取りまとめています。
【日時】１１月２１日（水）①14:30～　②18:30～
【場所】渋谷区幡ヶ谷区民会館　大集会場
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/shisetsu/chiiki/kumin_kaikan/km_hatagaya.html

【問い合わせ】「コスタリカの奇跡」みる渋谷　090−9963−1955（中村）

【日時】１１月２４日（土）①10:30～ ②14:00～ ③18:30～
【場所】渋谷区広尾・地域交流センター新橋コミュニティーホール
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/shisetsu/chiiki/koryu/koryu_shinbashi.html
【問い合わせ】『コスタリカの奇跡』をみる会　03−6326−0022（達林）

【日時】11 月 28 日（水）　18:00～
12 月 8 日（土）　①10:30～　②14:00～
【場所】富士国際旅行社　新宿区新宿２−１１−７　宮庭ビル 4 階
【アクセス】地下鉄丸の内線、都営新宿線「新宿三丁目駅」C5 出口から徒歩 1 分
【参加費】1000 円　【定員】各回 25 名（要申込）
【お申込み・お問い合わせ】富士国際旅行社　TEL 03-3357-3377　FAX 03-3357-3317

【日時】１２月２２日（土）　①10:30～ ②13:30～
【場所】横須賀市・ヴェルク横須賀　横須賀市日の出町１丁目５番地　http://www.werk-yokosuka.jp/access
【問い合わせ】横須賀市民九条の会　090−1814−2504

【日時】１２月２３日（日）　①14:00～ ②16:00～
【場所】武蔵村山市・さくらホール小ホール　東京都武蔵村山市本町 1 - 17 - 1
https://www.musashimurayama-sakurahall.jp/access/
【問い合わせ】武蔵村山上映実行委員会　080−5091−1475（内田）

◇職場のハラスメント防止法を作ろう！◇

http://roudou-bengodan.org/topics/7646/

パワハラやセクハラなど、職場での様々なハラスメントが横行し多くの働く人たちが苦しんでいるにもかかわらず、日本ではハラスメント行為を一般的に規制する法律が存在しません。
しかし、ＩＬＯにおいてハラスメント規制の国際基準に関する議論が進められているほか、厚労省でも法整備に関する議論が行われています。
本集会では、ハラスメント被害者の方、そのご家族、労働組合、弁護士など様々な立場から職場のハラスメント防止法の必要性とその内容について考えてみたいと思います。
【日時】2018 年 11 月 22 日木曜日 18:30～21:00
【場所】連合会館２階大会議室　千代田区神田駿河台 3-2-11　https://rengokaikan.jp/access/
【参加費】無料、
【予約】不要。途中参加も勿論可能ですが、場合によっては資料のご用意ができない場合がありますので、予めご承知おき下さい。
【主催】日本労働弁護団　TEL:03-3251-5363

◇あなた自身のケア、していますか～死にゆく人と共にあるために～◇

日頃、患者さん、ご家族をケアする中で、疲れ切っていませんか？
特に死にゆく患者さんとそのご家族に向き合う医療者は様々なストレスを感じるでしょう。医療者自身のケアは、患者さん、ご家族によいケアを提供し続けるために重要です。
セミナーでは、セルフケア、ストレスマネジメント、マインドフルネスを体験して頂きます。マインドフルネスは、過去を思い煩わず、未来の不安に執着せず、今、この瞬間を生きることです。キーワードは、呼吸です。また、米国で開発された「死にゆく人と向き合うためのプログラム」『GRACE』も紹介いたします。日頃の疲れを癒し、明日からのエネルギーを満たすことのできるセミナーといたします。
【講師】高宮有介先生昭和大学医学部　医学教育推進室　教授
【日時】2018 年 11 月 24 日(土)　13:00～16:00
【場所】ピースハウスホスピス教育研究所　https://education.peacehouse.jp/report.html
神奈川県足柄上郡中井町井ノ口 1000-1
【対象】対象　看護師、医師、薬剤師、MSW、介護福祉士等、緩和ケアに関心のある方
【定員】　50 名
【申込期限】　2018 年 11 月 19 日(月)
【申込方法】チラシ確認のこと→　https://education.peacehouse.jp/info001.pdf

◇デニ・ムクウェゲ医師ノーベル平和賞受賞記念イベント◇

『女を修理する男』上映会＋トークショー

https://www.facebook.com/events/247122372573261/

2018 年のノーベル平和賞は、紛争下の性暴力と闘う 2 人の活動家、ナディア・ムラドさんとデニ・ムクウェゲさんに授与されることになりました。
この受賞を記念して、コンゴ民主共和国（以下、コンゴ）の婦人科医・人権活動家のデニ・ムクウェゲ医師の活動を追ったドキュメンタリー映画『女を修理する男（The Man Who Mends Women）』の上映会を開催します。
コンゴの紛争と性暴力の背景には、紛争鉱物とグローバル経済が関係しています。
上映後には、2016 年にムクウェゲ医師を日本に招へいし、本映画の日本語字幕付き DVD 制作を担ったお二人よるトークショーを開催し、映画の背景を掘り下げて解説していただきます。また、このような問題を教育現場に取り入れる意義についても考えます。
勇気あるムクウェゲ医師を英雄として称えるだけでなく、わたしたちにもできることを共に考えましょう。

【日時】2018 年 11 月 27 日（火）18:30～21:00（18:00 開場）
【会場】聖心グローバルプラザ 3F　ブリット記念ホール　東京都渋谷区広尾 4-2-24
（広尾駅４番出口徒歩１分）　https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/access/
【定員】300 名　※事前申込制・先着順
（映画は一部刺激の強い描写もございます。12 歳以下のお子様のご鑑賞は、保護者の方、主催者の方の自主的なご判断をお願いいたします）
【参加費】一般 1,000 円、学生・DEAR 会員 500 円　聖心女子大学学生・高校生以下の方は無料　※当日清算
【プログラム】　18:30～18:40　あいさつ
18:40～20:30　映画上映
20:30～21:00　トークショー

トークゲスト：大平和希子・華井和代（コンゴの性暴力と紛争を考える会／東京大学）
進行：八木亜紀子（開発教育協会）
【主催】認定 NPO 法人開発教育協会（DEAR）
コンゴの性暴力と紛争を考える会（ASVCC）
【協力】聖心女子大学グローバル共生研究所
【お問い合わせ・お申し込み先】開発教育協会（DEAR）http://www.dear.or.jp/getinvolved/e181127.html
TEL: 03-5844-3630（平日 10 時～18 時）

◇どうなる沖縄　どうする私たち◇

新しい沖縄県知事・玉城デニーさんの誕生です。厳しい選挙といわれた中で８万票の差をつけて勝利することができたのは何故か。
そしてデニーさんの言う「肝心（ちむぐくる）」「新時代沖縄」とは何なのか。
１０月１７日、防衛局は、私人救済の制度である「行政不服審査法」を使い、対抗措置をとり、国交省は県の埋め立て承認「撤回」の執行停止の仮処分を認めました。工事が再開されます。
今後の工事の見通しについても学び、新基地建設を許さないという輪をさらに強く広げていきましょう。
【日時】２０１８年 11 月 27 日（火）１８：３０～２１：００（開場１８：００）
【場所】練馬区民・産業プラザ 研修室４　練馬区練馬 1-17-1　Coconeri 4 階
☆練馬駅降りてすぐ左１分
【参加費】３００円（学生無料）
【主催】沖縄を学び考える会（担当：水沢）
Sumie-air@mse.biglobe.ne.jp
【プログラム】
①：「デニーが勝った」（森の映画社制作 56 分）上映
②：選挙を振り返って … 水沢澄江さん（カヌーチーム）
③：工事の今後 ー 埋め立て土砂問題を中心に
… 毛利孝雄さん（辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会）
④：リレートーク

◇9 条改憲問題とアジアの平和◇

自民党総裁選でも改憲が取りざたされ、自民党総裁に就任した安倍首相は、臨時国会に改憲発議をしたいとの意向を明らかにしています。
一方、東アジアの情勢をはじめ、世界情勢は大きく変動しています。
いま、憲法を変えることは、何を意味し、何をもたらすのか、改憲発議の動きにどう向き合うべきかを皆さんとご一緒に考えていきたいと思います。【講師】 小沢隆一さん
（1959 年生まれ 一橋大学法学部卒 専攻・憲法学 東京慈恵会医科大学教授 9 条の会事務局員）
【日時】2018 年 11 月 28 日（水）13:10～15:00 (13:00 より受付)
【会場】婦選会館 2 階会議室 渋谷区代々木 2-21-11 Tel 03-3370-0238
JR 代々木駅 北口 徒歩約７分／JR 新宿駅 南口 徒歩約７分
小田急線 南新宿駅 徒歩約３分／地下鉄大江戸線・新宿線 新宿駅 A1 出口 徒歩約３分

【参加費】500 円

◇市民と野党の勝利を目指そう in 参議院選東京選挙区◇

https://twitter.com/TeN_Network2017/status/1055299640466137088

各政党の予定候補者が出席されます。沖縄の勝利から私たちは何を学び取ればよいのでしょうか？候補者から政策と抱負を伺い、ご一緒に考え話し合いましょう。

【日時】11 月 28 日(水) 18:30～

【場所】IKE・Biz 6F 多目的ホール　豊島区西池袋 2-37-4　http://www.toshima-plaza.jp/access/

【主催】TeN ネットワーク

◇デニ―勝利と私たちの課題◇

【講演】伊波洋一（参議院議員・沖縄の風）

【日時】11 月 29 日　19 時～

【場所】文京区民センター３Ｃ　文京区本郷 4-15-14

【資料代】700 円

【主催】沖縄を自分の問題として考える会

◇パレスチナ ywca・ユース国際会議／オリーブ収穫プログラム報告会◇

https://www.facebook.com/events/192207131682407/

パレスチナ YWCA は今年 10 月、国際ユース会議「ユースが参加しユースが決める：平和と正義にむけて」を開催しました。

また、パレスチナ YWCA・東エルサレム YMCA による合同プロ ジェクト「Joint Advocacy Initiative(JAI)」は毎年、「オリーブ収穫プログラム」を実施し、パレスチナの状況を国際的に発信するとともに、イスラエル当局や入植者による土地の収奪や迫害にさらされるパレスチナの農家を支援しています。

「パレスチナの人々と連帯する国際デー」の 11 月 29 日、上記のプログラムに参加した日本 YWCA スタッフが報告を行います。

パレスチナにおける YWCA の活動や、最近の状況についてお伝えします。軽食あり。

【日時】2018 年 11 月 29 日（木）18:30～20:00

【場所】日本 YWCA 事務所　（東京都千代田区神田駿河台 1-8-11　東京 YWCA 会館 3 階 302 号室）

【連絡先】03-3292-6121（平日 9:30~18:30）　office-japan@ywca.or.jp

【報告者】小笠原純恵（日本 YWCA 職員）

【参加費】無料（パレスチナ YWCA へのカンパ歓迎）

◇「老い支度・死に支度を学ぶ」 第１回 上手に老いるために◇

https://www.volunteer-kibou.org/勉強会-講演会/

NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼうでは、人生 100 年時代と言われる長寿社会を迎え、上手に老後を過ごし、最期を迎えるために、「老い支度・死に支度を学ぶ」講演会・座談会を 3 回シリーズとして企画いたしました。

【講師】石黒秀喜氏

【日時】２０１８年１２月１日（土）13:30～15:00　※開場 13:00

【場所】墨田区みどりコミュニティセンターホール　墨田区緑 3-7-3　http://www.sumidaku-midoricc.com/

【参加費】無料　　【定員】：50 名(先着順)　どなたでもご参加いただけます

【お申込み方法】参加ご希望の方は、お名前、電話番号・メールアドレス等ご連絡先を、FAX・メール・はがき・直接事務局へのいずれかで下記へご連絡ください。複数名の方でまとめてのお申し込みも承ります。

NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼう事務局

ＦＡＸ：０３－５６６９－８３１０

メール：info@volunteer-kibou.org

はがき・事務局：東京都墨田区立川２－１－９　ＫＨハウス１階

※今後の予定

第 2 回講演：川越厚氏「日野原重明先生の生き方・死に方から学ぶ」

第 3 回座談会：「私の老い方・死に方を語り合う」

◇「憲法を詩おう♪コンテスト」　表彰式&憲法ソング発表会◇

https://www.nichibenren.or.jp/event/year/2018/181201_2.html

【日時】１２月１日（土）　１４時００分～１６時３０分　※１３時３０分開場

【場所】サントリーホール　小ホール（ブルーローズ）　港区赤坂１－１３－１

https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/map/

東京メトロ　溜池山王駅　１３番出口　徒歩約１０分

六本木一丁目駅　３番出口　徒歩約５分

【参加費】無料

【申込方法】事前申込不要・先着順

【定員】定員４００名　どなたでもご参加いただけます

※当日先着順のため、満席となった場合は入場をお断りすることがあります。

●プログラム

１　憲法特別講演　「改憲問題の行方」（仮）　講師　青井　未帆　さん　（学習院大学教授）

２　表彰式・朗読会　　入賞作品の表彰・朗読、審査員による講評

３　大賞・憲法ソングの発表　　ＤｉＶａによる演奏・ミニライブ

【主催】日本弁護士連合会

【お問い合わせ先】日本弁護士連合会人権部人権第二課　ＴＥＬ：０３－３５８０－９５０７

◇ジュゴン訴訟報告集会&海勢頭豊ライブ◇

2018 年 8 月 1 日サンフランシスコ連邦地裁で、差し戻しとなっていた「ジュゴン訴訟」は敗訴しました。しかし原告側は、9 月 24 日米連邦高裁に控訴しました。

沖縄県の「承認撤回」、玉城デニー沖縄県知事の誕生と民意は、辺野古新基地建設反対であり、辺野古・大浦湾の自然を守ることです。ジュゴン訴訟でジュゴンの棲む海を守りましょう！

【日時】12月１日（土）　１８：３０～２０：３０　１８時開場

【場所】大田区入新井集会室（Luz 大森４階）

大田区大森北 1-10-14　JR 大森駅東口徒歩３分

【参加費】１０００円

【主催】ジュゴン保護キャンペーンセンター(SDCC)　info@sdcc.jp 090-4960-4270(事務局)

◇大野裕氏　公開講演会　認知行動療法の第一人者を迎えて◇

https://www.chiba-inochi.jp/events/

申込先着順・入場無料

①　2018 年 12 月 2 日(日)　14：00～16：00

会場：白井市保健福祉センター　(定員 80 名)　千葉県白井市復 1123 番地

講演：「こころの力をいかす３つのステップ」

共催：白井市（厚生労働省補助事業）

②　2018 年 12 月 8 日(土)　10：00～12：00

会場：山武市役所　(定員 120 名)　山武市殿台 296 番地

講演：「こころを軽くする３つのステップ」

共催：山武市

お問い合せ／申込み 社会福祉法人 千葉いのちの電話事務局（月～金 9:00～17:00　祝日休）

ＴＥＬ　０４３－２２２－４３２２

ＦＡＸ　０４３－２２７－６９１１

メール　ll-chiba@chiba-inochi.jp

◇「届けよう！市民の声一子どもの貧困対策大綱の見直しに向けて」◇

https://www.facebook.com/events/768258256856489/

子供の貧困対策大綱が 2014 年 8 月 29 日に閣議決定されてから、約 4 年。来年 2019 年夏には、この大綱の見直しが行われる予定です。

この 4 年間で、子どもの貧困対策はどのように進展し、何がいまだ課題なのか。ゲストスピーカーの話を通じて大綱の課題と成果を振り返り、参加者同士で話し合いながら、より実効性のある子どもの貧困対策に向けて、市民の声を届けませんか。多くの方のご参加をお待ちしております。

【日時】2018 年 12 月 2 日（日）13:00～16:40（開場　12:30）

【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター　国際交流棟 1F レセプションホール

（〒151-0052　東京都渋谷区代々木神園町 3-1）

アクセス： https://nyc.niye.go.jp/train/

センター内マップ：https://nyc.niye.go.jp/category/facilities/map/

【定員】150 人

【資料代】500 円（可能な方より・学生無料）

【お申し込み】参加ご希望の方は、以下のフォームより、11 月 29 日（木）までにお申し込みください。

https://www.kokuchpro.com/event/1202forum/

※フォームからお申し込みができない場合は、件名に【フォーラム参加申込】と明記のうえ、
①お名前、②お立場・ご所属、③お住まいの都道府県、④電話番号をご記入いただき、
下記のアドレス宛にお申し込みください。

forum@end-childpoverty.jp

◇ペンクラブ平和委員会シンポジウム「憲法と平和　どう考える９条」◇

戦争、戦力・交戦権を放棄した９条。その意味、力、未来とは・・・
学生、自衛隊員経験、沖縄、作家、メディア。
世代、体験の違い、それぞれの人生から立ち上がる考えかたを交流します。
「自分の頭で考えたい」そう思うあなたに何かをもたらすシンポジウムです。
お誘いあわせのうえ、お出かけ下さい

http://japanpen.or.jp/kenpouheiwa/

【日時】12 月 3 日（月）18:45～20:30
【場所】文京シビックホール　文京区春日 1 - 16 - 21
【出演】浅田次郎／大城貞俊／金平茂紀／中島京子／TOSMOS／PeaceNight9
【参加費】1000 円　大学生以下は無料です
【申込】電子メールで、タイトルを「１２月３日イベント申込」
本文にお名前・申込み人数・電話番号をお書きの上、以下までお申し込みください
日本ペンクラブ事務局 kenpou@japanpen.or.jp
【主催】日本ペンクラブ平和委員会
【問い合わせ】日本ペンクラブ事務局　Tel03-5614-5391

◇12.3 講演会「ウソとごまかしの『安倍政治』総検証」◇

http://www.kyodo-center.jp/?p=5445

民意を無視して 9 条改憲を強引に進めようとしている「安倍政治」。その「安倍政治」において、公文書・公的情報の隠蔽・改竄・廃棄・捏造が横行し、権力のウソとごまかしが国民主権や議会制民主主義を脅かそうとしています。私たちは、森友・加計学園問題に典型的にみられる権力の私物化、「働き方改革」のウソ、外交交渉の内容の捏造等々、ウソとごまかしによる「ポスト真実」の政治を許せず、アピールを発表して賛同の署名を呼びかけました。

下記のとおり、賛同署名集約の集会を開催いたします。この日、署名簿を安倍晋三氏に届けるとともに、この集会にさまざまな分野からの発言を得て、「安倍政治のウソのごまかしを総検証」いたします。そして、どうすれば、安倍政治に終止符を打つことができるか考えてみたいと思います。どうぞご参加ください。

【日時】12 月 3 日(月)18 時～20 時　開場 17 時 30 分
【場所】衆議院第 1 議員会館　地下 1 階大会議室
どなたでもご参加いただけます。議員会館ロビーで入館証をお受け取り下さい。

◇沖縄の民意を踏みにじるな！ 辺野古新基地建設を許さない！ 東京集会◇

辺野古新基地建設問題で、公有水面埋立承認の撤回を行った沖縄県に対して、10 月 30 日に国交大臣が執行停止の採決を行い、辺野古の工事が再開され、土砂の投入がなされようとしています。

民主主義も地方自治も無視する安倍政権を許さず、辺野古新基地建設強行を許さない集会が、12 月 6 日に開催されます。

【日時】12 月 6 日(木)　18:30～20:30

【場所】一ツ橋ホール 東京都千代田区一ツ橋２丁目６-２　日本教育会館 3F

地下鉄「神保町」「九段下」「竹橋」、ＪＲ「水道橋」下車　　地図→http://www.jec.or.jp/koutuu/

【内容】沖縄からの訴え（山城博治・沖縄平和センター議長ほか）

訴訟問題の解説（白藤博行・専修大学教授）ほか

【主催】戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会

止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

◇映画「南京！南京！」上映会◇

https://www.facebook.com/permalink.php?story_fbid=1658575534246306&id=174509072652967&width=500

【日時】2018 年 12 月 8 日(土)13 時 30 分

【場所】文京区民センター3A 会議室　文京区本郷４－１５－１４　　（地下鉄･春日駅/後楽園駅）

【参加費】一般 1000 円 学生 500 円"

【プログラム】13 時 30 分～15 時 50 分　映画「南京!南京!」（2009 年/中国映画/135 分 陸川 監督作品）

16 時～16 時 40 分　トークシェア

【主催】憲法を考える映画の会

◇東京自殺防止センター　体験傾聴講座◇

https://www.befrienders-jpn.org/archives/454

好評の「体験傾聴講座」をまた開催します！

あなたの家庭や職場など身近いる方の、つらく苦しい気持ち。

どうやって寄り添ったらよいか戸惑ったこととはありませんか ？

「聴く」ことに興味のある方、ぜひご参加くださいませ。

少人数で行う実践的傾聴入門講座です。

【日時】２０１８年 12 月 11 日(火)　19:00～21:00

【場所】新宿区立　戸塚地域センター　5 階　会議室 1

東京都新宿区高田馬場 2-18-1　http://www.tcc-tokyo.net/access/

【講師】自殺防止センター電話相談員

【定員】15 名

【参加費】１,０００円（当日会場にて直接お支払い下さい）

【申込方法】事前に事務局または、下記のフォームからお申込みをお願いします。

https://www.befrienders-jpn.org/cgi/mpmail1/form.cgi

【主催】東京自殺防止センター　TEL　03-3207-5040（平日 10:00～17:30）

◇素直に、自分らしく、こころよく：うつ、不安、悲嘆の心理学からのヒント◇

https://www.befrienders-jpn.org/archives/447

講師の伊藤正哉氏は、筑波大学大学院や日本学術振興会特別研究員 DC・PD では自分らしくある感覚（本来感；Sense of Authenticity）の研究を、ヨーク大学ではつらい感情を体験したときに自らを癒す過程（自己静穏）の研究をしました。
コロンビア大学では複雑性悲嘆の治療法を学び、現職ではうつ病、不安症、トラウマへの認知行動療法の臨床研究と新しい治療法の開発に取り組んでおります。
講演では、これまでの研究から学んだ、自分らしく生きるヒントをお話いたします。
【日時】2018 年 12 月 15 日(土)　14:00～15:30 (受付 13:30～)
【場所】Twitter Japan 株式会社　東京都中央区京橋 3-1-1　東京スクエアガーデン内 3F
http://tokyo-sg.com/access/
（入館にはご本人確認の為、名刺２枚もしくは身分証のご提示が必要となりますので忘れずにご持参ください）
【講師】伊藤正哉氏　国立精神・神経医療研究センター
認知行動療法センター　研修指導部研修普及室長
【定員】80 名(当日受付はありません)
【申込締め切り】１２月１３日
【参加費】無料
【申込方法】事前下記のフォームからお申込みをお願いします。
https://www.befrienders-jpn.org/cgi/mpmail3/form.cgi
【主催】東京自殺防止センター　TEL　03-3207-5040（平日 10:00～17:30）

◇憲法こそ　たからもの　Part２　憲法がかわるとどうなるの？◇

http://nanbu-law.gr.jp/info/

昨年好評だった憲法集会の第２弾です。
講演　青井未帆さん　　学習院大学大学院法務研究科教授（憲法学）
スペシャルライブ　「憲法くん」がやってくる　松元ヒロさん
ゲストスピーカー　諏訪原健さん
【日時】2018 年 12 月 16 日日曜日 13:30～16:00
【場所】きゅりあん（品川区立総合区民会館）　品川区東大井 5-18-1
http://www.shinagawa-culture.or.jp/hp/page000000300/hpg000000268.htm
【申込】チケットは下記リンクから。電話申込は問い合わせ先へ。
https://goo.gl/forms/35rdVFXOKa1kCaiy1
※ 前売り券の方優先となります。満席になった場合、当日券販売はありません。チケットご購入のうえお越しいただけますと幸いです。
【問い合わせ先】東京南部法律事務所　TEL03－3736－1141

◇レイバーフェスタ◇

http://www.labornetjp.org/news/2018/1222kokuti

安倍三選で、ウソと不正、インチキな政治や経済がもうしばらく続きそう。戦争の足音も聞こえる。長時間労働・低賃金・不安定雇用とパワハラで、働くものの悲鳴が聞こえてくる。そのうえ年金カット、福祉破壊、増税、水道の民営化まで。このままでは日本は沈没してしまう。でも、沖縄では「辺野古新基地ノー」の玉城デニー氏が知事選で圧倒的に勝利した。驕った政権の中にきしみも起きている。いまこそ私たちが動きはじめるとき。「戦

争・差別・貧困」社会ではなく「平和・人権・民主主義」の社会を求めて、さあレイバーフェスタで声を上げよう！

【日時】12 月 22 日（土）10.30～16.50（開場 10.00）

【場所】東京・田町交通ビル 6 階ホール　港区芝浦 3-2-22（JR 田町駅「芝浦口」徒歩 3 分）

【参加費】一般当日 1700 円　前売・予約 1500 円　失業者・障害者（一律）1000 円　学生・20 歳以下　無料

【予約・問合せ】レイバーネット日本　TEL03-3530-8588　FAX03-3530-8578

メール予約　http://labornetjp.jimdo.com

【主催】レイバーフェスタ 2018 実行委員会（責任団体 レイバーネット日本）

〔プログラム〕10：00　開場

10:30　★水の民営化に待った！

映画『最後の一滴まで～ヨーロッパの隠された水戦争』（60 分）上映

解説＝内田聖子（PARC）・水道労働者

12:00　休憩　50 分　　12:50　主催者挨拶

13:00　★たたかいと歌

『路上から発信』一主張するイロモノみちばた興業フェスタ

末武あすなろ・右田隆・多田弘一・ジョニーH ほか

13:50　★公募川柳入賞作発表（レイバーネット川柳班）

14:10　★アスベスト問題は続いている

新作映画『子どものころ光る砂であそんだ』（30 分）上映

トーク＝松井絵里（出演者）・北穂さゆり（制作者）

15:00　休憩（15 分）

15:15　★映像メッセージ「世界から日本から」

三分ビデオ一挙上映（20 本）

16:50　終了

■別会場で 17：30 から「大交流会」を行います。飲食代実費。

プログラムは変更の可能性があります。最新プログラムは　レイバーネット HP を参照してください。

◇石牟礼道子追悼シンポジウム「死者と魂」◇

https://www.sophia.ac.jp/jpn/news/griefcare/2018/itd24t0000026889.html

本年 2 月 10 日、石牟礼道子さんが 90 歳で逝去されました。詩人、作家、水俣病事件の当事者、「悲嘆(グリーフ)」への寄り添い人など、石牟礼さんのさまざまな側面を検証し、その類い稀なるお仕事を偲び、未来へと受け継いでいきたいと思います。『苦海浄土ーわが水俣病』刊行から半世紀。この間の日本と世界の変貌に危機感を深めつつ、私たちはどのような未来を切り拓くことができるのか、その苦悩と希望を共に見つめていきます。

【日時】2018 年 12 月 23 日（日）　午後 1 時 ～ 午後 5 時 30 分　（開場　正午）

【場所】上智大学四谷キャンパス　10 号館 1 階講堂(定員 500 名・全席自由)

【講師】遠藤　邦夫　　（水俣病センター・相思社元常務理事）

吉永　理巳子　（水俣市立水俣病資料館語り部・一般社団法人水俣病を語り継ぐ会代表）

金井　景子　　（早稲田大学教育学部教授）

若松　英輔　　（批評家）

【受講料】一般　2,500 円　学生　1,000 円

上智大学グリーフケア人材養成講座受講生・東京自由大学会員　1,500 円

【申込み】https://eipo.jp/griefcare/　受付開始 11 月 12 日(月)10:00～

◇在宅ホスピスボランティア入門講座◇

https://www.volunteer-kibou.org/ボランティア募集/

【開催日】 平成３１年１月１９ 日（土）１０：３０～１４：００

【会場】 NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼう事務局

墨田区立川２-１-９ KH ハウス４F（医療法人社団パリアン内）

【募集人員】 １０名　　【受講料】 ５００円(昼食、資料代)

【申込方法】 受講申込書にご記入のうえ下記申込先に FAX またはメールにてお申込みください

NPO 法人在宅ホスピスボランティアきぼう事務局　https://www.volunteer-kibou.org

TEL：03-5669-8302 FAX：03-5669-8310

e-mail：info@volunteer-kibou.org

【申込締切日】平成 31 年１月１２日（月）

申込書→　https://pallium.co.jp/wp-content/uploads/2018/10/190119volunteer-kouza.pdf

◇川崎いのちの電話　公開講座◇

https://kawasaki-inochinodenwa.jp/koza2.html

第１回　「もしも死にたいと言われたら」

【日時】2019 年１月 27 日(日)　13:30～15:30(受付 13:00～)

【講師】松本俊彦　国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所薬物依存研究部　部長

病院　薬物依存症センター　センター長

【場所】川崎市国際交流センター　レセプションルーム

川崎市中原区木月祗園町 2 番 2 号　http://www.kian.or.jp/accessmap.shtml

第２回　「ネット依存の実態と対応」

【日時】2019 年 2 月 7 日(木)　18:45～20:45(受付 18:15～)

【講師】三原聡子独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター　臨床心理士

【場所】てくのかわさき　川崎市高津区溝口１－６－１０

https://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/tekuno-access.html

第３回　「人の話を聴くということ　～ボランティアから学ぶ～」

【日時】2019 年 2 月 13 日(水)　18:45～20:45(受付 18:15～)

【講師】渡辺啓二　心と生活の相談室シャローム　室長

【場所】てくのかわさき

★★★　　編集後記にかえて　★★★

すっかり秋も深まって、各地の紅葉の便りが伝えられておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

いつも会報を取りまとめ、編集してくださっていた入江杏さんが体調不良のため、10 月 30 日の世話人会に集まった世話人が中心になって、臨時の体制を作り 105 号を取りまとめました。みんなそれぞれ忙しい中での作業

なので、とうとう 11 月 11 日の公共哲学入門(山脇直司先生)の記事を事前にお届けすることができず、13 日の発行になってしまいました。事情ご賢察の上、お許しくださるようお願いします。

今回は、入江さんに代わり、黒子さんが記事を取りまとめ、編集してくださいました。

新人世話人の杉山寅次郎さんの元気溢れる巻頭言、いかがだったでしょうか? 杉山さんは、これまで会報の印刷・発送を引き受けてくださっていた山本さんに代わり、今後印刷・発送の仕事を引き受けてくださることになりました。

とにかく、とっさに臨時の編集体制を作って何とか発行に漕ぎ着けましたが、この体制のままでは安定的に会報を発行することは困難です。どなたか、継続的に会報の編集を引き受け、あるいは助勢してくださる方はおられないでしょうか?心当たりの方は、関根までご連絡ください。

本来 11 月は、来年の分の会報代の振り込みをお願いする月なのですが、今回はもう少し安定的な編集体制を作ってから、来年当初に発行する号と共に、請求書を送らせていただくことにいたしました。

今後とも、ベグライテンへの変わらぬご愛顧と、ご支援をお願い申し上げます。

2018 年 11 月 13 日　　ベグライテン　代表世話人　関根和彦

会報に関する連絡先：メールでは当面次にご連絡ください。　　info@begleiten.org
電話の場合：　　関根まで　　090-9146-6667

★★★　追伸　★★★

すっかり編集し終わって、印刷する段階に入ったところで、入江さんから会報読者のみなさま宛ての文章が届きました。入江さんのこれまでのお働きに対する感謝の言葉と共に掲載したかったのですが、間に合いませんので今回は入江さんの文章だけ以下に掲載させていただきます。(関根)

(会報読者のみなさまへ)

川口 有美子さん、稲葉 剛さん、石坂 わたる (Wataru Ishizaka)さんが発起人となる院内対話集会で、冒頭、熊谷晋一郎先生(東京大学先端科学技術研究センター准教授) のお話を聴きました。なぜ政治家をはじめ、社会に影響力を持つ人達が差別を助長する発言をしてはならないか?「スティグマ」の行動的要素が「差別」ということで、まず「スティグマ」から考えていきます。公的スティグマと自己スティグマに加えて、構造的スティグマについて触れ、スティグマによって健康の不平等、健康格差が生まれていることを指摘されました。その後の様々な現場からの発言も…貴重な時間でした✨

熊谷晋一郎さんの基調報告で印象に残ったのは「マイノリティーへのマジョリティの理解を進める上で、もっとも効果があるのは、当事者のナラティブを聞いてもらうこと」とする指摘です。私は犯罪被害者遺族としての語りが、あるフレームにはめられたものになりがちなことに常々、違和感を感じていました。被害者感情を強調して、他罰感情と厳罰主義に寄与するか、「頑張っている」「悲しみを乗り越えようとしている」として、サバイバーズバイアスを強めてしまうか・・・当事者の語りはもっと多様であっていいと思います。語った結果、社会的距離を生んでしまうのではなく、存在を受け容れる契機になれば・・・と思っています。

今号からベグライテンの会報お手伝いが出来なくなりました。今まで読んでくださっていた方々に感謝します。

入江　杏